

# 株式会社エクセルの株式取得（子会社化）について

---

2019年12月19日

加賀電子株式会社

# エクセル子会社化の概要

株式取得の スキーム・日程	2019年12月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 加賀電子、エクセルおよびオフィスサポート、CI11の間で「加賀電子・エクセル 経営統合契約」を締結</li><li>・ 加賀電子とCI11の間で、「エクセル 株式譲渡契約」を締結</li></ul>						
	2020年2月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エクセル臨時株主総会</li></ul>						
	2020年3月30日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エクセル上場廃止</li></ul>						
	2020年4月1日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ CI11が金銭対価の株式交換によりエクセルを完全子会社化</li><li>・ エクセルの一部資産をCI11に対して現物配当実施</li><li>・ 加賀電子 エクセルを完全子会社化</li></ul>						
取得価格 (概算額)		<table><tr><td>・ 株式会社エクセルの普通株式</td><td>100百万円</td></tr><tr><td>・ アドバイサリ-費用</td><td>250百万円</td></tr><tr><td>合計</td><td>350百万円</td></tr></table>	・ 株式会社エクセルの普通株式	100百万円	・ アドバイサリ-費用	250百万円	合計	350百万円
・ 株式会社エクセルの普通株式	100百万円							
・ アドバイサリ-費用	250百万円							
合計	350百万円							
取得資金		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式取得資金は自己資金より充当</li><li>・ 但し、エクセルの運転資金として80億円を短期借入で資金調達</li></ul>						
財務への影響		<ul style="list-style-type: none"><li>・ [負ののれん代：82億円] を2021年3月期特別利益として計上予定</li></ul>						

# エクセル子会社化の狙い・施策効果

電子部品・半導体 ビジネスのシェア拡大	両社において取扱い商材・ 販売チャネルを相互に補完	<ul style="list-style-type: none"><li>• エクセルが強みを持つ液晶デバイス領域において 国内外の有力商材を共有</li><li>• エクセルがもつ中国顧客基盤への当社商材の 販売強化</li></ul>
EMSビジネスの 事業規模拡大	当社グループのグローバル EMS拠点網を共有	<ul style="list-style-type: none"><li>• エクセル顧客へEMSビジネスを展開</li><li>• 外部提携工場から当社自社工場への切換え</li></ul>
新規事業の獲得	当社グループの総合力を 活かして事業化支援	<ul style="list-style-type: none"><li>• エクセルのEV関連事業など有望テーマの早期の 事業化を実現</li></ul>
経営効率の向上	両社事業協業の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>• 両社がもつ販売関連組織の最適化</li><li>• 管理間接部門の相互活用</li></ul>

# エクセルの概要

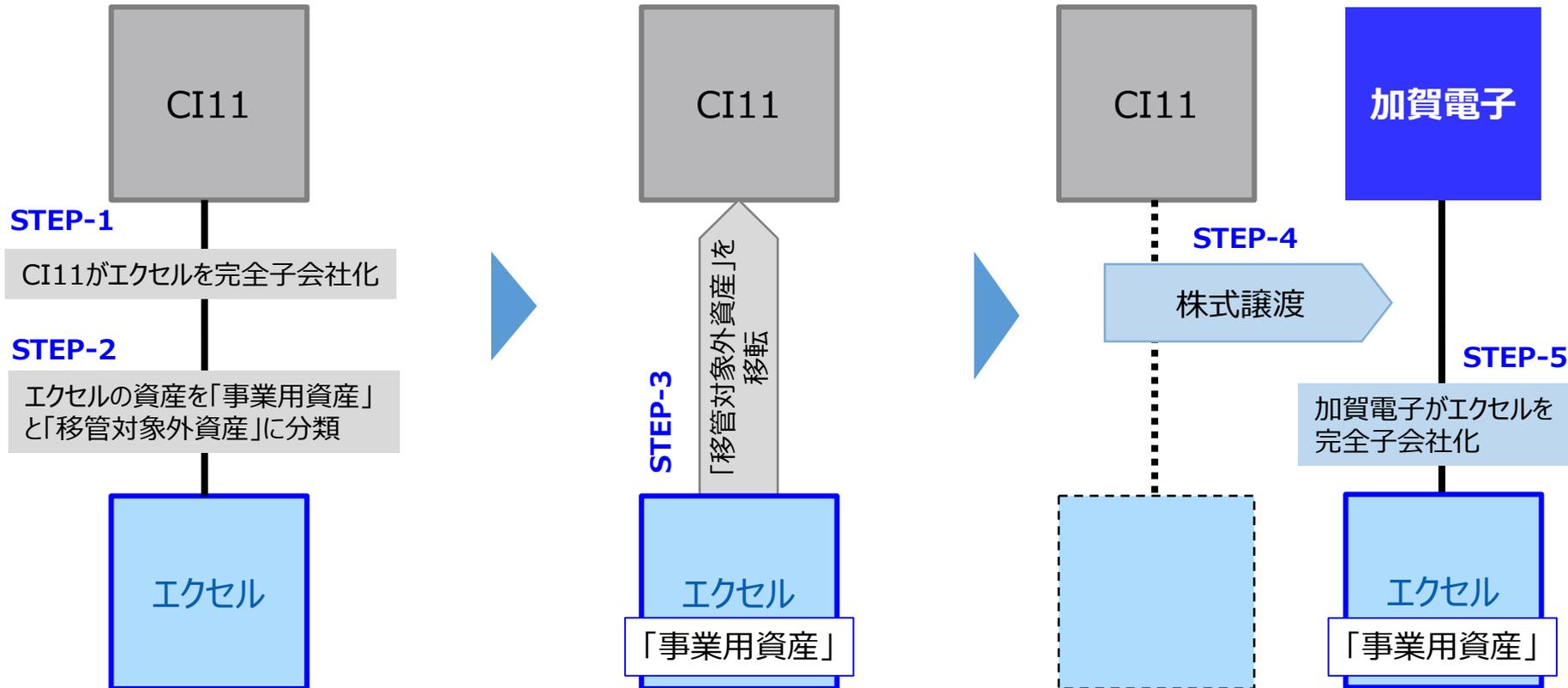
名称	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式会社エクセル</li></ul>
代表者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 代表取締役社長執行役員 大滝 伸明</li></ul>
所在地	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 東京都港区西新橋三丁目12番10号</li></ul>
沿革	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1961年: 株式会社オーケー商会として設立</li><li>・ 1992年: 株式会社エクセルに商号変更</li><li>・ 2002年: 東証第二部に上場</li><li>・ 2004年: 東証第一部に指定替え</li></ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 液晶等表示デバイスおよび電子部品・電子機器の販売</li><li>・ 電子部品の海外調達および電子機器の委託加工販売</li></ul>

# エクセル子会社化のスキーム <同社の東証開示資料より>

株式交換でCI11の子会社に

CI11に対して現物配当実施

加賀電子が株式取得

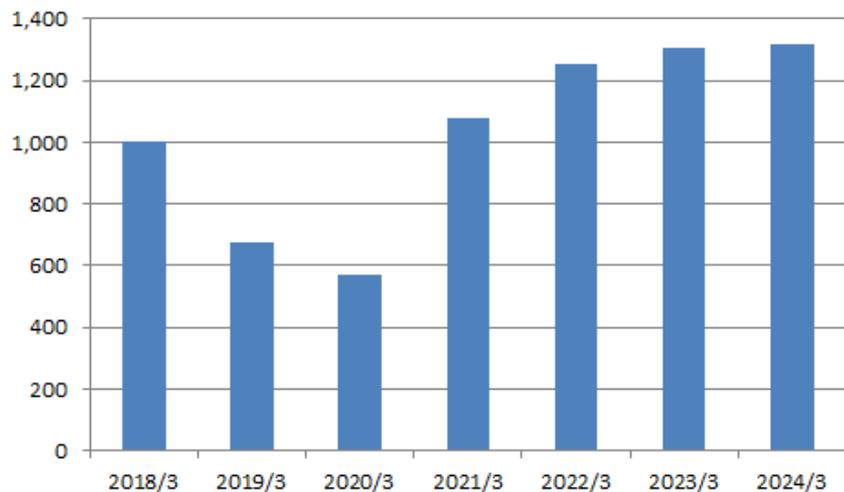


# エクセルの直近業績および見通し <同社東証開示資料より>

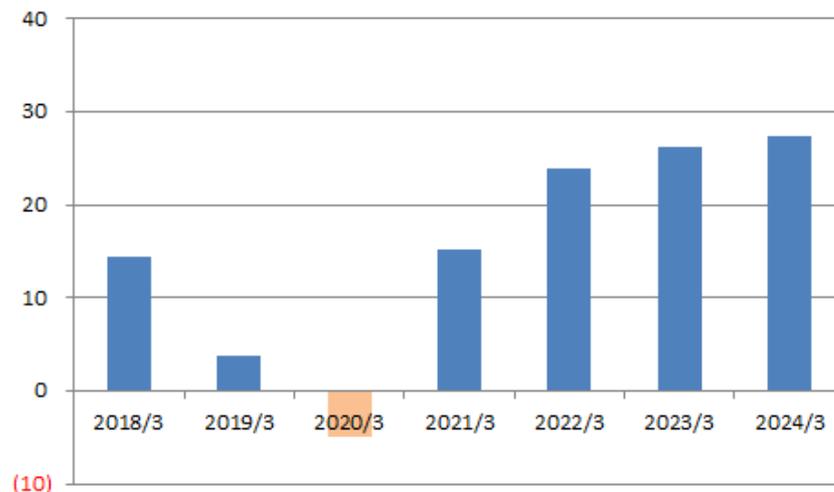
(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想	2020年度 見通し	2021年度 見通し	2022年度 見通し	2023年度 見通し
売上高	1,004	675	570	1,076	1,256	1,303	1,319
営業利益	14.3	3.7	▲5.0	15.1	23.9	26.2	27.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	28.7	5.7					

売上高



営業利益



「利益重視の経営」の確立・定着を通して

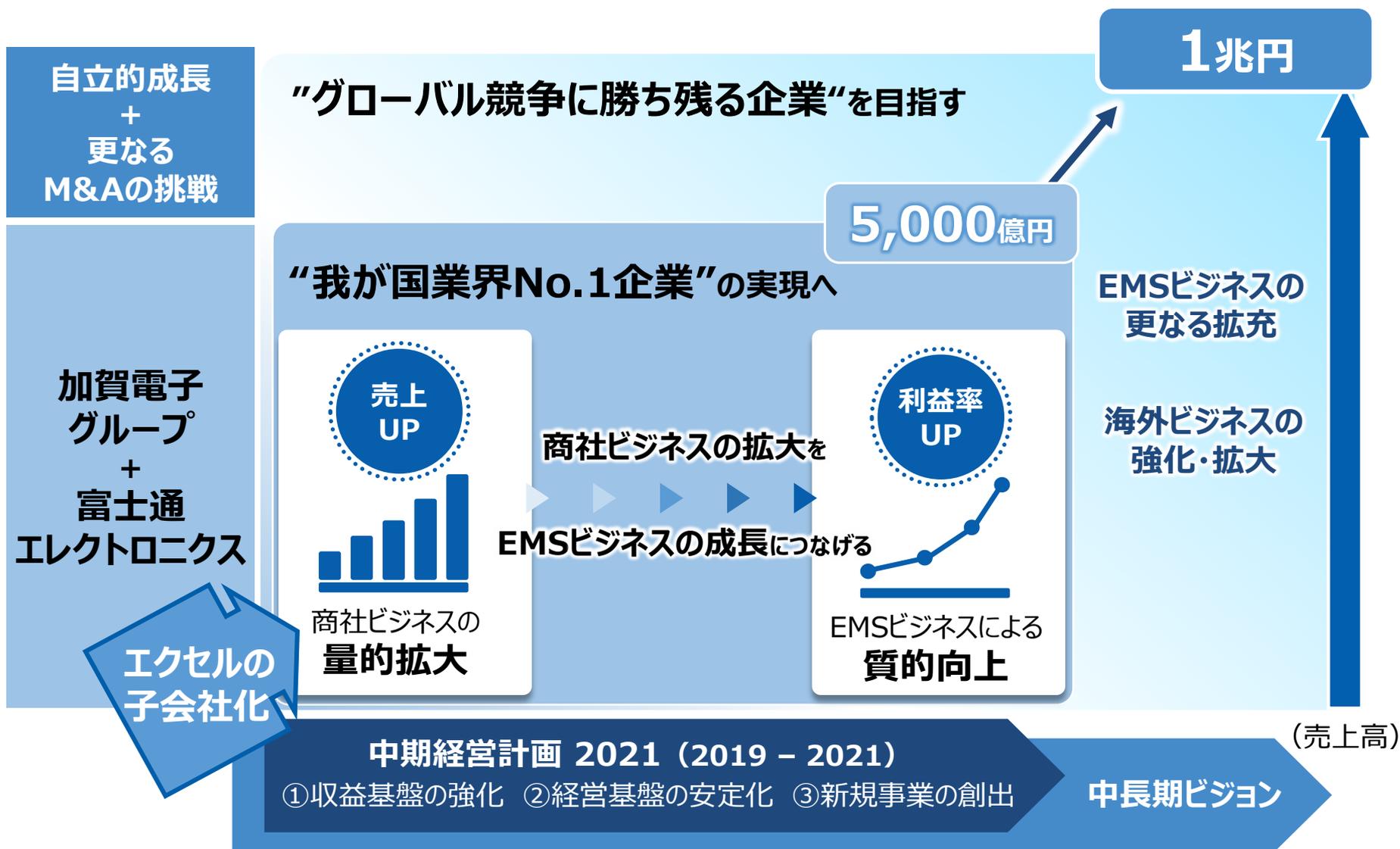


“我が国業界No.1”の企業グループを形成し



更には、  
“グローバル競争に勝ち残る企業”を目指す。

# 「中期経営計画 2021」 の位置付け



# 「中期経営計画 2021」 経営目標

	2018年度 実績	2019年度 予想	2021年度 経営目標
売上高	2,928億円	4,420億円	5,000億円
営業利益	76億円	90億円	130億円
ROE	10.9%	6.4%	8.0%以上

為替レート

・ 計画の前提： US\$1.00 = ¥110

# 業界内ポジショニング

富士通エレクトロニクス連結化の通年寄与で、**2020年3月期は業界第2位へ、**  
更に、**エクセルが加わることで、“5,000億円企業”を実現**

(単位：億円)

## 2019年3月期実績

順位	社名	売上高
1	マクニカ・富士エレ	5,242
2	丸文	3,267
<b>3</b>	<b>加賀電子</b>	<b>2,928</b>
4	リョーサン	2,497
5	シークス	2,428
6	菱電商事	2,403
7	トーメンデバイス	2,176
8	UKCホールディングス	2,058
9	エレマテック	1,834
10	立花エレテック	1,829

## 2020年3月期予想

順位	社名	売上高
1	マクニカ・富士エレ	5,400
<b>2</b>	<b>加賀電子</b>	<b>4,300</b>
3	レスター	4,100
4	丸文	2,915
5	シークス	2,440
6	リョーサン	2,350
7	菱電商事	2,336
8	トーメンデバイス	2,100
9	エレマテック	2,010
10	立花エレテック	1,830

注：調査対象は上場企業

シークスは12月決算、他社は3月期決算

レスターは、UKCホールディングスとバイテックホールディングスの経営統合により2019年4月1日より発足

データの出所：当社調べ

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

---

---

---

---

---

---

---

---

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

『すべてはお客様のために』



**問合せ先：IR・広報室**

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入